

# 東風 HARUKAZE

令和2年3月5日発行

## 臨時休校中の3年生の皆さんへ 校長メッセージ 15,000時間の義務教育を凝縮して

小学校に入学して9年。人によって差もありますが、およそ15,000時間、学校で生活してきたと思います。見当がつかないくらい長い時間ですよ。皆さんは、まもなく義務教育を修了します。

諸般の事情で友人や先生と学校で学習する時間が突然終わったり、大切な卒業証書授与式が短くなったりと、3年生には本当に申し訳なく思います。

一般入試を控えている皆さん、15,000時間の学習を凝縮する5日間を送ってくださいね。

そのような中、この一年、本当によく頑張ってくれた皆さんの門出をお祝いするために、卒業証書授与式に、多くの保護者の皆様と、新宮町当局の皆様がご列席なさいます。いつも皆さんの全力の様子を見守ってくださり、成長を喜び、たくさん褒めていただきました。

皆さんは保護者の方にとっても、新宮町の方にとっても、唯一無二の、大切な宝なのです。

**15,000時間の成長を、30分に凝縮しましょう！**

**凛として堂々と、誠実でしなやかな大人になった姿を見ていただきましょう！**

3月13日 金曜日 卒業証書授与式、本番に強い皆さんの、全力の、そして新宮東中で最後の本気を楽しみにしています。

## 1年生、2年生の皆さんへ 校長メッセージ 今こそ『學問のすゝめ』



150年前に福沢諭吉によって書かれ、340万部読まれた大ベストセラーです。初編から17編までのシリーズ本で、当時の国民10人に1人が買ったこととなります。

その15編に《 事物を疑いて取捨を断ずること 》とあります。「信じる、疑うということには、取捨選択の判断が必要である。學問はこの判断する力をつけるためにある」と、福沢諭吉は説いています。

判断とは、必要な情報と不要な情報を取捨選択することです。新宮東中では「課題を発見する」と呼び、AIが不得意な領域です。SNSが普及し、たくさんの情報が溢れていますよね。その中には不要な情報はもちろん、嘘や人をだます目的の情報が紛れていることもあります。それを自分で取捨選択するために学ぶ必要があるのです。

諭吉さんが、（自分が印刷されている）1万円札でたくさんのトイレットペーパーが買われている様子を見たらどう思うでしょう？

今、義務教育で學んできたことをじっくり振り返り、「課題を発見」しましょう。特に、不得意な課題や、深く追究したいと思っている課題に、たっぷり時間をかけましょう。**取捨選択の判断に磨きをかけ、ピンチをチャンスに、困難を成長に、しなやかに変えていきましょう！**

